

令和8年度 胆振管内教育推進の重点

【推進テーマ】 多様な子どもたちの「深い学び」を確かなものにする学校づくり ～現行学習指導要領の確実な実現～

胆振の強み

- ◇新しい授業観に基づく各学校の授業改善の取組
- ◇特別支援教育に関する個別の相談を含む研修等の充実
- ◇望ましい生活習慣に関する研修ニーズ
- ◇地域の教育資源を活用した教育活動
- ◇管内各市町教委や校長会等と連携したミドルリーダー等の育成

重点1

児童生徒の資質・能力の向上

- 「好き」を育み、「得意」を伸ばす授業づくり
 - 自律した学習者となるための主体的・対話的で深い学びの実現
 - 幼保小や小中高の接続における意図的・計画的な指導の継続及び授業改善
 - 運動やスポーツに意欲的に取り組む態度の醸成
- 児童生徒理解に基づく学びの動機付けを図る取組の充実と、子どもが学びの見通しをもち、他者と関わりながら学びを深め、その過程を振り返って次につなげる学習活動の展開
 - 学校種間で連携した求められる授業像を共有する研修等の実施及び授業改善の推進
 - 子どもが自己の能力や適性、興味・関心に応じて、仲間等と気軽に楽しく運動に参加することができる機会の提供

重点2

安心して学べる環境の充実

- 自己存在感や自己有用感を高める取組の充実
 - 特別な教育的支援など多様な教育的ニーズに応じた学びの場の保障及び充実
 - 管理職を含む全ての教員の特別支援教育に関する専門性の確保・向上
- 子どもの成長を支える発達支持的生徒指導の充実
 - 特別な教育的支援を要する子どもや不登校、日本語指導等、多様な背景をもつ子どもの学びの環境整備
 - 校内の組織体制の明確化及び関係機関との連携による組織的な指導・支援の促進
 - 全教職員を対象とした特別な教育的支援を要する子どもの理解及び対応の研修とチームによる支援の充実

今後の課題

- ◆求められる授業像の共有
- ◆学校種間の授業改善の連携
- ◆多様なニーズに応じた適切な教育課程の編成・実施
- ◆授業と家庭学習が関連した家庭学習習慣の確立
- ◆持続可能な胆振の創り手育成
- ◆時間外在校等時間縮減に向けた一層の意識改革

重点3

生活・学習習慣の確立

- 地域と連携した生活リズムの改善に向けた取組の充実
 - 授業と連動して家庭学習を進める取組の充実
 - 望ましい電子メディアの利活用の推進
- 地域や家庭教育サポート企業と連携した生活リズム改善の取組の推進
 - ICTの活用や授業と連動した家庭学習を進める取組事例の収集と好事例の周知
 - 学習習慣、運動習慣、読書習慣の向上を目指し、自ら目標を立て実行するための取組の充実
 - 学校、地域、社会が一体となった体験活動を行う機会の充実
 - 家庭における適切な電子メディア利活用の推進・啓発

重点5

教職員の資質・能力の向上

- 北海道における教員育成指標を活用した取組の一層の推進
 - 「新たな教師の学びの姿」の実現に向けた取組の促進
 - 信頼される学校づくりに向けた取組の実施
- 「教員育成指標活用ガイド」を活用したセルフ・マネジメントの促進
 - 面談時におけるキャリアプランへの指導助言と研修受講の奨励
 - 幅広く校務分掌を経験できる校内人事を通じたミドルリーダー・女性リーダー・管理職候補者の育成
 - 事例に基づいた資料を活用した研修など、心に響く指導の徹底

重点4

地域との連携・協働

- 地域の問題解決に向けた行動を実践・発信する機会の創出
 - 持続可能な地域づくりに向けた人材を育てるふるさと教育の推進
 - 地域と協働した部活動の「地域展開」の在り方の検討・推進
- CS等を活かした学校を核とした地域づくりの推進
 - 「ふるさと胆振」の伝統、文化、歴史、産業等のよさについて、地域とともに発見して学ぶ取組の推進及び子どもが地域の一人としての意識を高める取組の充実
 - 地域人材や「いぶり五大遺産」などの地域素材を活用した学習の推進
 - 部活動の「地域展開」に向けた管内地域展開推進協議会等の充実

重点6

働き方改革の推進

- 「働きやすさ」と「働きがい」を両立し、仕事の質を高める働き方改革の更なる加速化
 - 北海道アクションプランに基づく「質の高い学び」と「持続可能な学校」の実現
- 「Road」の進捗確認シートや働き方改革チェックリストを活用した組織的な取組の推進
 - 教職員のための「業務マニュアル等リンク集」などの活用・推進
 - 校務DXによる校務の効率化や地域との協働による「3分類」に基づく業務の適正化
 - 教職員の学校運営への積極的な参加や組織的・機動的なマネジメント体制の構築による副校長・教頭業務の分散化